

掘削機アタッチメント式非開削工法 フレックスドリル工法

推進機と油圧掘削機が一体化 市街地での非開削工法の切り札

フレックスドリル工法とは？

- フレックスドリル工法は、油圧掘削機のアームの先端に直接アタッチメントすることができる非開削工法(HDD)です。
- 動力源である油圧は、掘削機から供給するのでエンジンパワーパックが必要ありません。
- フレックスドリルは、コンパクトであるため、特に都市部での配管敷設工事に適しています。掘削機1台で立抗掘削～推進～埋戻しまで一連の作業ができます。
- 推進延長の目安

50A	70メートル
75A	70メートル
100A	60メートル
150A	50メートル
200A	40メートル

※土質によって延長距離は前後します。



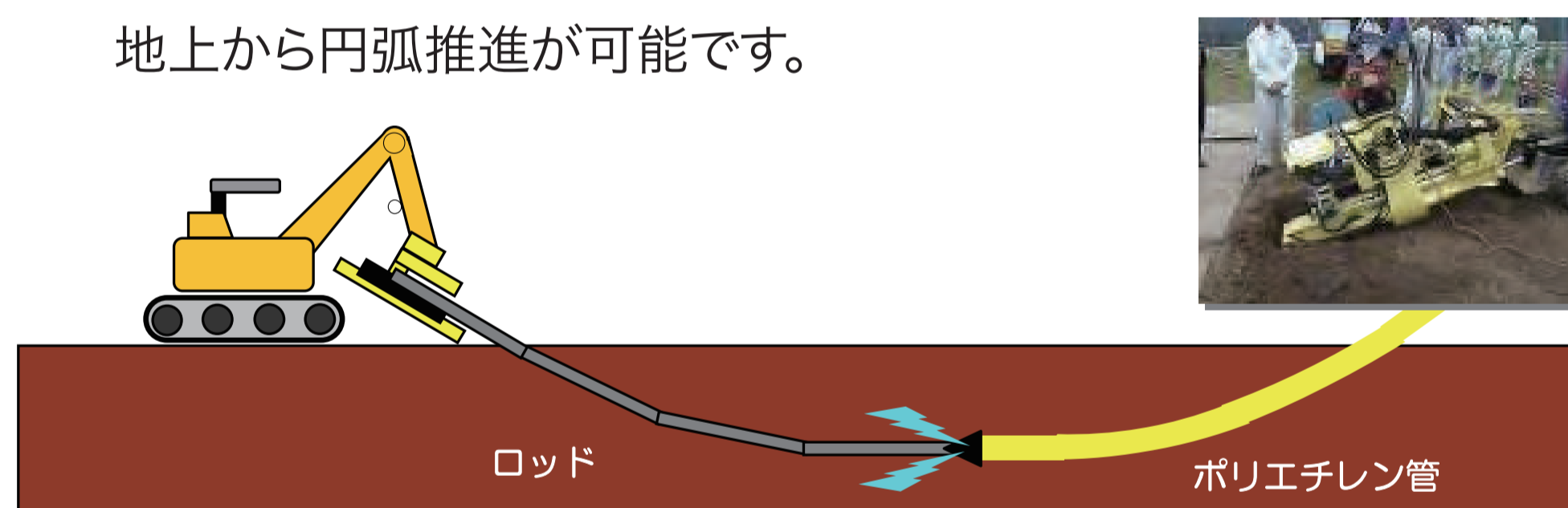
フレックスドリル工法の特長

立抗設置型の推進



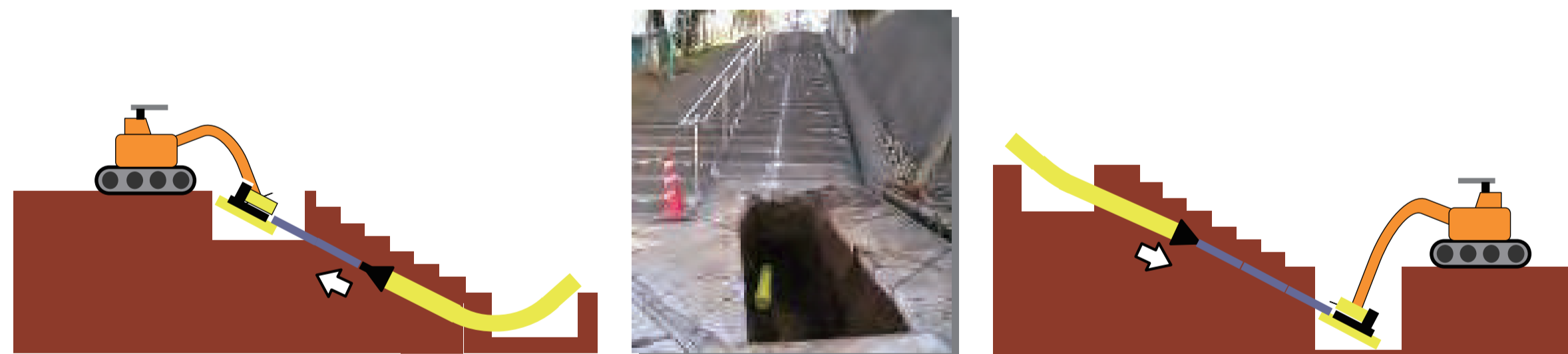
地上からの円弧推進

推進ロッドの方向制御により、地上から円弧推進が可能です。

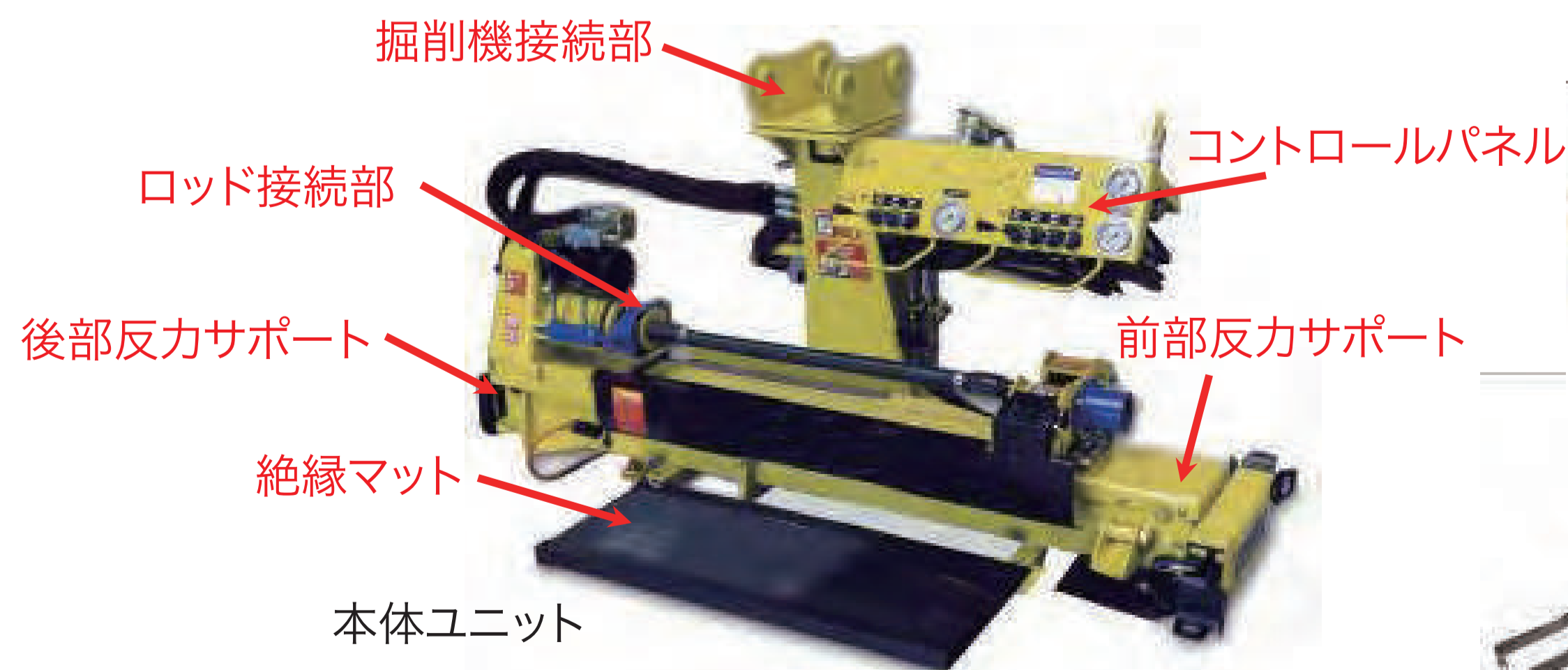


斜面への推進

階段や坂などの斜面への推進が容易に施工できます。掘削機のアームを利用することで、上下80度の首振りが自由に行えます。



本体セット



ウォータータンクユニット



ロッドセット (50本)

